物価高騰などに対応する経済支援

■地域通貨Hashi-Moプレミアム付デジタル商品券……2億717万円

物価高騰により影響を受けている地域経済を支援するため、プレミアム付デジタル商品券(プレミアム率30%)を発行しました。プレミアム分は地元店舗限定とし、地元店舗への誘客につなげました。





■物価高騰対策事業者支援給付金

原油価格の高騰や物価高の影響を受けている市内 中小企業や個人事業主、公的サービス提供事業者な どの負担軽減を図るため、支援金を給付し事業活動 の継続を支援しました。

…………1億1.500万円

- ●事業者…法人10万円、個人5万円
- ●介護・障がい福祉サービス事業者など… 入所等施設20万円
- 通所·訪問等事業所10万円
- ●市内私立保育園、認定こども園、認可外保育施設 …10万円



■低所得世帯への支援

………6億7, 241万円

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担軽減を図るため、非課税世帯などを対象として、支援金を給付しました。

- ●物価高騰緊急支援給付金(令和5年7月~)
- … 1 世帯あたり 3 万円
- ●物価高騰対応支援給付金(令和6年1月~)
- …1世帯あたり7万円

■子育て世帯への支援

-----9,629万6千円

物価高騰による経済的な影響を受けた子育て世帯に対して支援金を給付しました。

- ●児童扶養手当受給者など
- …児童一人につき5万円
- ●18歳までの児童
- …児童一人につき5千円の地域通貨ポイント

■学校等給食費の負担を軽減しました

------5, 103万1千円

橋本市立小中学校および市内認可保育所、認定こども園などに在籍している子どもの保護者に対して、給食費を3カ月間無償化することにより、物価高騰による影響を軽減しました。



健全な財政運営を 目指して

令和5年度決算では、借入金の返済額が市全体の支出のどれぐらいを占めるかを示した実質公債費比率が12.2%と前年度より0.5%減少しました。しかし、毎年の経常的な収入と支出の割合を表す経常収支比率(支出/収入)では、102.3%(前年度比3.0%増)と3年ぶりに100%を超えており、財政構造の硬直化が高い状態となっています。

今後、少子高齢化に伴う社会保障費や老朽化した公共施設の改修費など、 さらに多くの財政需要が見込まれるとともに、デジタル化の推進や脱炭素 化の取組みなど、新しい時代に対応した施策の推進もますます重要になり ます。引き続き、税収などの財源確保に努めるとともに、無駄を省いた効 率的な財政運営に取組みます。



ともに育てる子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

小・中学校の長寿命化改良工事やトイレ改修工事を継続して行なっています。

令和5年度は、城山小学校の長寿命化改良工事、 紀見小学校の外壁改修工事、恋野小学校のトイレ改 修工事、紀見東中学校照明器具整備工事、小学校空 調設備照明器具整備工事を行いました。



■小・中学校に電子黒板を導入しました

………2, 189万円

教育現場のICT環境整備のため、市内の小・中 学校に158台の授業用電子黒板を設置しました。

■岡潔数学体験館を設置しました

------2, 257万1千円

本市の名誉市民である岡博士の偉業を後世に伝えるとともに、子どもたちに算数・数学の意義や楽しさを伝え、関心を高める施設である「岡潔数学体験館」を設置するため、工事費を支出しました。



■ (仮称) 紀見こども園整備事業に取り組みました ……4,525万3千円

令和7年4月開園予定の(仮称)紀見こども園の整備計画に伴い、旧柱本幼稚園解体工事および(仮称)紀見こども園新築工事を実施するための設計監理等費用、旧柱本幼稚園解体工事及び駐車場造成工事費用を支出しました。



▲紀見こども園の完成図

■公民館・郷土資料館建設事業に取り組みました …………1億6.024万7千円

紀見地区公民館・郷土資料館・あさもよし歴史館 を統合した複合施設建設のため、建設工事監理委託 料及び建設工事費を支出しました。



■子ども医療費の無償化

.....1億3. 619万1千円

子どもの健康の保持及び増進のため、小学校就学から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもの医療費を助成しました。

市債と基金

特定事業の実施や、財源 不足のときに使う市の貯金 (基金)は、前年度と比較 して6億円増加し、58億円 (うち財政調整基金36億 円)となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金(市債)残高は、前年度と比べて15億円減少し、427億円となりました。



